



JR八高線毛呂駅の桜
昭和48年4月（松田太郎さん提供）

JR八高線毛呂駅の写真です。駅舎入口には、「毛呂駅開業四十周年記念」と書かれた看板があり、昭和8年4月15日の開業から40年の節目に撮影されたことがわかります。当時は、駅舎の周りにも多くの桜の木があり、可憐な薄いピンク色の花を咲かせていました。

現在の風景



募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

桜鯛

鯛（真鯛）は桜が咲くころになると、産卵のため岸近くの浅いところに上がってきます。そして、栄養を蓄え、体色がとりわけ美しくなります。この春の真鯛は「桜鯛」などと呼ばれ、極上品として扱われます。



「桜鯛」といえば落語の小噺にこんな話があります。ふだん鯛は一箸しか付けぬ殿様が、「美味である。代わりを持って」「ははー」困ったお付の人は機転を利かせて「殿に申し上げます」「なんじゃ」「庭に植えましたる桜、満開の折には見事であろうと・・・」「ほう、左様か」殿様が桜に目をやった際にお付の人は鯛の頭と尻尾を持ってひっくり返して「持参いたしてございます」「おう、来ておったか」「美味である代わりを持って」「いかがした？代わりはまだか？ならば、余がもう一度桜を見ようか」という話です。

また、「花は桜木、人は武士、柱は松、魚は鯛、小袖はもみじ、花はみよしの」室町時代の禅僧、一休宋純が遺した言葉で、日本一のもの詠んでいます。あの一休さんも一番と讃えた鯛は、姿・色・味の三拍子が揃い、まさに魚の王様です。

鯛の身は歯ごたえのある白身で、他の魚に比べて臭みや脂肪などの癖も強くありません。刺身、焼き物、吸い物、煮付け、鍋料理、鯛めしなど多種多様な料理を楽しむことができますので、ぜひ、皆さんも味わってみてください。

4月の人事異動で、秘書広報課の広報エースMさんが他の部署に異動しました。Mさんのレイアウトセンスや読者を引き込む文章力は素晴らしく、多くの人に感動を与えてくれました。今後も残された職員で、感動を与えられる紙面づくりに努力していきますので、温かいご支援をお願いします。(Y)



わがやのアイドル



中山 竜彦くん
(3歳6か月)

りゅう君はパパやママと一緒に走るのが大好き/色んな事を覚えて、日々成長を実感します。4月からは幼稚園の年少さん☆お友達や先生と楽しい毎日♪ たくましく育ててね。



山下 明衣ちゃん
(3歳3か月)
菜美ちゃん
(11か月)

明衣は、お世話好きのお姉ちゃん。4月からは幼稚園に入園。たくさんお友達をつくってね。菜美は、食べるのが大好き。もうすぐ1歳。2人共、いつも笑顔をありがとう♥

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

人口 36,779人 (+41人)
【男 18,317人 (-17人) 女 18,462人 (+58人)】
世帯 15,713戸 (+77戸)
※平成22年4月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。